

総評

どの教科も難しめの出題で、特に理科と国語が難しく、5教科合計の平均点も低くなりました。

道コンのような試験は、受験して結果を見ただけでは半分の価値しかありません。間違えた問題の解き直しをして、自分のミスや弱点に気が付き、克服してこそ受けた価値があるのです。また、正解した問題であっても、解説を読んで自分のやり方とはちがう解き方に気付くこともあります。新たな解き方や考え方を身につけ、得意分野をさらに伸ばすこともできます。

入試では、不注意によるミスをどれだけ減らし、得意分野でどれだけ得点を積み上げられるかが重要なポイントになります。自信をもって受験にのぞめるよう、今回の問題を存分に活用して、得点力アップに役立ててください。

国語

難しい出題でした。

㊦の問三は漢字の読み方は合っていて、音訓の組み合わせが誤っているものが多く見られました。問四(3)は、空欄の前後だけではなく、文章全体をよく読んで判断しましょう。㊧の問四は「自分の行動が生んだ結果」とそれによって「思った」ことの両方を書くことに注意しましょう。また、「征人」と書くべきところを「聡」と書いている答案が散見されました。行動や発言が誰のものかをしっかりと把握しながら読みましょう。㊨は、全体的に難しかったようです。助詞や修飾語についても復習しておきましょう。問三の(2)は、文の途中ではなく、一文の最初の五字を書き抜くことに注意しましょう。㊩は、口語訳と照らし合わせ、省略された表現に注意しながらもう一度読んでみましょう。

数学

資料の活用・確率の分野で得点率の低い問題がありました。入試の必修単元ですので、学校での授業時間が不十分であっても、しっかり演習しておきましょう。

①の問6、表の形式が見慣れなかったのか、得点率がたいへん低くなりました。「中央値」とは何か、表の上下がどう対応しているのかを再度確認して下さい。

②問2では、何と何の確率を比べるのかを見失った答案や、確率にふれずに説明した答案が目立ちました。

④問2は、問1の角度を用いて証明しようとした答案が多数ありました。各問いの中で示された条件は、他の問いでは有効ではありません。整理して取り組もう。

⑤の問2は裁量問題を意識した難しめの問題ですが、問1は比較的易しめの問題です。苦手意識を持たずにもう一度挑戦してみましょう。

社会

難しい出題でした。

地理分野では、②問4や③問4などの資料を判別する問題が難しかったようです。各国、各県の農業や産業などの特色を把握しておきましょう。②問6(2)の記述は、西ヨーロッパの特徴を述べる解答が多かったので、何が求められているか問題の意図を考えて解答することを心がけてください。また、「労働」とした誤字が大変多かったので、必ず見直しをしましょう。

歴史分野では、④問1が難しかったようです。入試では、この問題のような年代関連の問いは頻出ですので、教科書や年表などを利用し、歴史の流れを理解しておきましょう。問2(1)の記述は、「東北地方を統一する」などの答案が目立ちました。人物とできごとを関連づけるだけではなく、目的も確認しておきましょう。

理科

難しい出題でした。

①は基本的な内容の出題です。間違えた問題や、迷った問題はしっかりと復習して、基礎固めをしておきましょう。①問2は、漢字指定を見落とししていたり、漢字の書き間違いが目立ちました。問題文をしっかりと読むとともに、漢字を正確に書くように意識しましょう。②問2②と③の計算問題が非常に難しかったようです。最近の入試ではこのような続けて計算を行う問題が出題されています。すべて正解できなくても、2問は得点を取りたいところです。③は問3(2)を、④は問1(1)を除き、全体に得点率が高めになりました。1年で学習した内容でしたが、身に着いている人が多かったようです。⑤は問2は観測結果の数値をしっかりと読み取った上で、図の等圧線が正しく読み取れたかがポイントでした。

英語

全体としてはやや難しい出題でした。得点率の低い問いが各大問に見られ、特に④は全体的にあまり得点できていなかったようです。まだ実戦的な問題演習を行っていないという人も多かったでしょうか。今後は、文法の基礎固めをしながら、入試形式の問題を解く練習もしていきましょう。

③問2はそれほど難度が高くない問題でしたが、あまり得点できなかったようです。過去形の受け身の文の作り方を確認しておきましょう。「それら」の表し方もしっかりと復習しておいてください。

④問1②では非常に得点率が低くなりました。入試の裁量問題でも、複数の文法項目が含まれる難度の高い並べかえが出題されています。文の構造を把握する練習を十分にしておきましょう。